

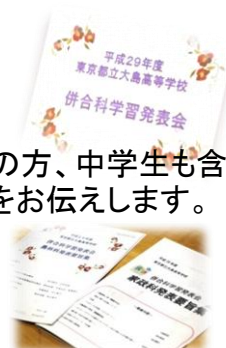
# 大島高等学校 農林科通信

2018年3月発行 第21号

## 第21号特集！

### 併合科学習発表会 開催！

2月10日に併合科学習発表会が行われました。保護者の皆さま、地域の方、中学生も含めたくさんの方々にご来場いただき盛大な発表会となりました。その模様をお伝えします。



#### 1・2年生合同の学習発表

1・2年生は今年度行ったさまざまな活動について発表をしました。

- 「多摩モノレールまつり参加報告」 1年杉山、山内
- 「日本農業クラブ平板測量競技参加会報告」 1年川崎、富樫 2年澤田
- 「大島椿株式会社工場見学報告」 2年今江、佐藤
- 「アサヒ若武者育成塾活動報告」 2年島村、向山



#### 3年生課題研究発表

併合科には自ら設定したテーマについて研究し、その成果をまとめ発表する課題研究という授業があります。農林科で学んだ3年間の集大成を発表しました。

##### 「椿炭の活用方法と価値を求めて」 今江 一詩

伊豆大島の産業のひとつであった椿炭。その活用方法を模索することで今一度価値を見出し、大島の産業の発展につなげようと設定したテーマ。炭の作成からさまざまな実験を行った。中でも、ハウレンソウの生育実験では椿炭がほかの炭と違いがある事に気付く。分析したところ椿炭には他の炭より多くのミネラル分が含まれていることが分かった。そのことにより、椿炭には燃料のみならずあらゆる活用が見込まれ、椿炭のさらなる可能性が広がった。



##### 「キョンから島を守るために～私たちにできること～」 今江 ほのか

はじめはキョンに興味があり、生態調査をすることが目的だったが、この課題を進めていくにつれて、捕獲について知られていないこと、島民の反対意見があることが分かった。実験や観察などを通してキョンの生態を知り、捕獲に対して関心を持ってもらえるような啓蒙(けいもう)活動を行うことを目的とした。調査した結果、捕獲の方法にも種類があり、他の動物を傷つけないための工夫や、捕獲自体にも多くの人たちの協力が必要だということがわかった。またそれを島民に伝えていく事がキョンを減らすきっかけに繋がっていくと考える。



来場者からのアンケートでは「さすが3年生！」「素晴らしい発表でした」と、高評価をいただきました。



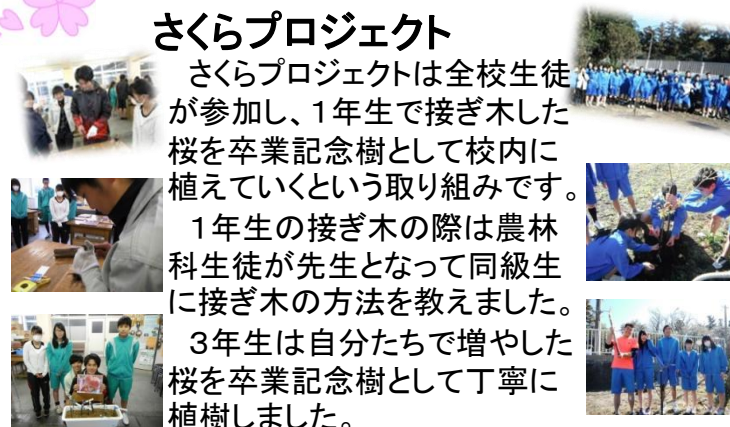
## 椿シーズン到来！大盛況 生徒による椿ガイド

椿祭りも始まり、国際優秀つばき園である大島高校椿園にも大勢の方が来園されます。農林科では、生徒による椿ガイドを行っています。初めは恥ずかしさもありましたが、練習を重ね今では大勢の人の前で堂々と椿の説明をしています。3年生になると英語でのガイドも行います。ガイドをしている顔はみんな笑顔で生き生きとしています。毎年恒例の椿ガイド。是非お越し下さい！



### さくらプロジェクト

さくらプロジェクトは全校生徒が参加し、1年生で接ぎ木した桜を卒業記念樹として校内に植えていくという取り組みです。1年生の接ぎ木の際は農林科生徒が先生となって同級生に接ぎ木の方法を教えました。3年生は自分たちで増やした桜を卒業記念樹として丁寧に植樹しました。



### 表彰されました！

日本農業技術検定3級  
1年生全員合格！  
SDYボランティア奨励賞  
「優秀賞」受賞！  
「食と農のミライ」  
作文コンクール  
1年 富樫 尋仁君  
優秀賞受賞！



### 草花分野より

#### 交流授業

第二中学校とつばき小学校に出向き、卒業式を飾るプランターを作りました。



#### ハーバリウム作り

ハーバリウムを作成しました。理科で廃棄になった試薬瓶を活用し、自分たちで作ったドライフラワーを特殊なオイルで漬け込み作成しました。きれいで個性豊かな作品ができました。



### 羊の健康診断

島の獣医さんをお招きし、羊の健康診断を行いました。問診から、外見のチェック、触診、聴診、糞や尿の検査、血液検査まで行いました。普段見ない口の中を確認したり、聴診器を使い心臓の音、おなかの音などを聞いたり、参加した生徒も獣医体験ができました。



発行：東京都立大島高等学校 農林科  
東京都大島町元町字八重の水127  
TEL 04992-2-1431  
FAX 04992-2-2461  
農林科ホームページ公開中  
<http://www.osima-h.metro.tokyo.jp>